

第8回庁舎建替検討委員会記録

日時 令和2年12月21日(月)午後6時00分～午後7時15分

場所 市役所大会議室

1. 開会

2. 議事

【報告事項】

(1) 根室市新庁舎建設基本計画について(説明:事務局)

【協議事項】

(1) 庁内レイアウト案について(説明:事務局)

資料1、資料2に基づき説明

(D委員)

更衣室は2・3階にあるが、1階には配置されないのか。

(事務局)

1階はスペース的に配置が難しいため、地階に男女それぞれの更衣室を配置している。女性用の更衣室は地階に全職員分を集約しているが、将来的に男女比率が変わることも想定して、2・3階の更衣室の一部を女性職員が使用するなど、使い方の検討も行う必要があると考えている。

(K委員)

相談室について、子ども連れの方にも配慮したものとなるのか。

(事務局)

2階の談話室はカーペットを敷き、靴を脱いで入る部屋をイメージしており、この部屋で保健師との相談などを行うこともできるのではないかと考えている。

また、以前にL委員からも意見があった保健サービスの提供についても保健課と協議を重ねているところであり、1階のネムロふるさとギャラリーや2階の大会議室、談話室を利用し、検診車など大型バスの駐車スペースを確保することで、大人の検診と併せて子どもの健診の実施も検討している状況である。

(L委員)

乳幼児健診などを行う場合には子どもを連れて入れるようなトイレも必要だと思う。また、授乳室には窓がないレイアウトのようなので、光が入ると明るい雰囲気になって良いのではないか。

(事務局)

トイレは男子・女子共にベビーチェアなどの設置も含め、各1室ずつはお子さんと一緒に入れるような広さを検討している。また、授乳室の窓は利用する方への配慮を行い、検討していきたい。

(2) 外構レイアウト案について (説明：事務局)

資料3に基づき説明

(A委員)

以前にもときわ台公園と市役所を一体的に利用するという考え方について話をしたことがあるが、その中でも市民憲章は最も重要であると考えている。現在ときわ台公園に設置されている市民憲章を市役所に移設もしくは新設させることについて検討してはどうか。

また、計画の駐車場は庁舎よりも大きく広いものとなっているが、経年劣化により水溜まりなどの問題が懸念されるので、浸透性を考慮した材質を使用することや、樹木が少なくなることも踏まえ、一部のアスファルトにはカラフルなものを使用するなど、色彩についても考慮していただきたい。

(事務局)

モニュメント等については、資料のとおり配置のスペースが狭くなることや、庁舎側の花壇は車両の出口と重なってしまうため、撤去等も含め配置に

ついて検討を行っていきたいと考えている。

カラーアスファルトについては歩道部分の使用を検討するなど、今後の課題とさせていただきたい。

(A 委員)

緑が少なくなることを考慮して、頻繁に利用しない駐車場を芝生とする 것도必要ではないか。植栽として景観への配慮を行い、駐車場としても活用することができる。

また、市役所にとって市民憲章はとても重要であり、「まちのあり方」について、より密接に考えることができるよう、市民の目に入るところの設置を考えていただきたい。

(事務局)

芝生についてはときわ台公園側の職員用駐車場の活用を想定しているが、現状は砂利となっているため、芝生にできるかどうか今後検討していく必要がある。

(C 委員)

アスファルトについては、5年後10年後に補修を行う際に同じ材料がないという事にならないようにしていただきたい。同じ材料がなく、アンバランスな見た目となっている歩道等を実際に見たことがあるため、そのような事が起こらないよう、先を見越した材料を使用することについても考慮していただきたい。

(I 委員)

アスファルトの素材については、先ほどお話があったように表面の目が粗く浸透性の高いものやツルツルで水切れの良いものなど様々なものがあるというように認識しているが、実際にはどうなのか。

(事務局)

材質についてはご意見のとおり様々なものがあり、専門の都市整備課の意見も参考にしながら検討していきたいと考えている。

(C委員)

駐車場には傾斜をつけ、水を切るようなイメージになるのか。

(事務局)

北側に人工地盤を設置することによって、地階部分に庇ができるため、排水については国道側へゆるやかな勾配をつけるような想定をしているところである。

(3) 樹木移植計画について (説明：事務局)

資料4に基づき説明

(A委員)

樹木については寒冷地に適した木などを選定し、市役所としての緑、まち全体としての緑に配慮していただきたい。

(事務局)

植樹については既存樹木であるカラマツの苗木を育て、後継樹として移植する計画としていたが、ご意見をいただいたように樹木を選定も含め検討を行っていききたい。

【その他】

(1) イメージパース案について (説明：事務局)

資料5に基づき説明

(A委員)

1階フロアのイメージ図について、災害時を想定すると窓口カウンターは1列に繋がっている形よりも間隔を空けた形の方がいいと思う。

また、資料3に戻るが、庁舎に隣接した障がい者等優先駐車場について、障がいにも様々な程度があるため、障がいのある方だけではなく一般の方にも配慮した駐車場も必要ではないか。公会堂のようなイメージとの説明があったが、ロータリー状の乗降場所など、外観以外のイメージも含め検討して

いただきたいと思います。

(事務局)

障がい者等優先駐車場については、一般の方が利用してはいけないというものではないが、基本的に障がいのある方や妊婦の方などが優先的に利用できるものとなっている。

また、今後の高齢化社会も見越して、バリアフリー法上は3台分の優先駐車場の設置としているところを、新庁舎では5台確保する計画としている。車寄せ部分については庇の大きさが足りないかもしれないので、雨に濡れずに車から庁舎へ来庁者が出入りできるように検討していきたい。

窓口カウンターについては、イメージパース上だと繋がった形に見えるが、数か所はスイングドアを設置し、職員の出入りが可能になるイメージである。

(C委員)

以前にA委員よりお話のあった、1%フォー・アートについてはどのような計画となっているのか。

(事務局)

現時点で具体的な活用方法をお示しすることは難しいが、イメージパースにもあるとおり、エントランスに大きな空間を確保しているため、このような空間の活用を検討しているところである。

(B委員)

パブリックコメントでは外断熱工法の採用について検討をしているとあったが、現状のイメージパースを見る限り4割程度が開口部となっているため、高断熱の窓ガラスを使用するなどといった説明も必要になるのではないかと思う。

(事務局)

ご指摘のとおり、庁舎のイメージは開口部が広く、断熱性能が高い窓ガラスの採用についても検討しているところであるので、パブリックコメントの

回答も含め、考え方を整理させていただきたい。

3. その他

(委員長)

これまでの検討委員会において様々な議論を行い、今般この根室市新庁舎建設基本計画がまとまったことについて、改めて皆さまに感謝いたしたい。人口が減少していく中、大きな建物を建てるということについて否定的な意見もあるが、人口が減っても職員の数が急に減るわけではなく、職員が減ることはサービスの低下にも繋がってしまうと私は考えている。新庁舎の建設は働く方のモチベーションになり、市民としての誇りにもなると思うので、残りわずかの委員会にはなるが、委員の皆さまには今後も引き続き検討をよろしく願いいたしたい。

4. 閉会